

3月号



# まちづくり通信

発行 飛騨高山まちづくり本舗  
 〒506-0845 高山市上二之町44-4  
 まちひとぶら座かんかこかん  
 電話&FAX 0577-33-5282  
 m-honpo@takayamashishouren.net

## 子育てを支え合うまちで“子育て支援大賞”受賞

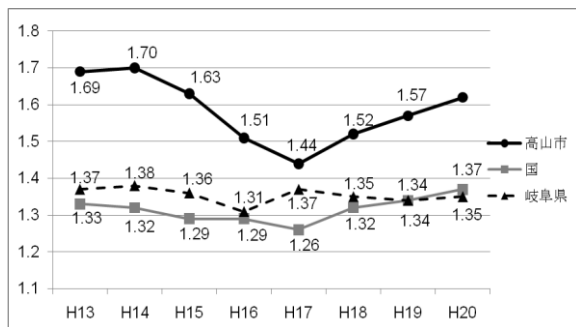
観光都市からバリアフリーのまち そして 子育て支援のまちへ

昨年 12 月、「冬のあったか縁日」準備当日の朝の市役所市民ロビー。スタッフに高校生や看護学生さんなど若い人たちも加わって、集まる人たちの輪が前年よりも更に大きなものになっていました。

そこにもたらされたのは、一週間前の 11 月 29 日の日本経済新聞紙面において、高山市が「2009 年について子育て支援大賞」を自治体では東京都千代田区とともに受賞したとのニュース。詳細はわからないなりに、お互いに喜び讃え合う空気に包まれました。

受賞の理由は「子育て支援金や医療費無料化、保育料軽減などの経済的負担軽減とともに、合併して日本一広い面積となった市域において、合併前の役場の空きスペースなどをうまく活用して子どもの遊び場を積極的に増やしていることなど地道で総合的な子育て支援策」が評価されたとのことでした。また、「千代田区と対照的に決して財源には恵まれていない高山市が合計特殊出生率(\*)を回復基調にしているのは、きめ細かい対策があってこそ、大いに評価したい」と、経済評論家で審査委員の勝間和代氏はコメントされていました。

子育て支援は行政の「やるき」に頼るだけでなく、市民の「やるき」とともに両輪で動かすもの。そこで、本紙では次号から、市民・民間の視点から行政との協働も交えてのきめ細かな取り組みをご紹介します。



▲合計特殊出生率の年度推移

(\*)合計特殊出生率とは、一人の女性が一生に産む子どもの数を示す人口統計上の指標。高山市の H20 は、3 月末確定のため数値は未表示。



### 4月号より新連載

#### 高山市の子育て支援色々



- 『医療と教育との垣根をなくす訪問看護』
- 『学童保育を支える市民活動』
- 『ブックスタートにことばの魂を添える』
- 『商店街と子どもたちをつなぐダンボール迷路』
- 『普通の人々が普段を持ち寄り子育てをコーディネート』
- 『私たちが困っていたからこそ気持ちがわかる病児保育』
- 『若者も真剣にまちの未来を憂いている』
- 『高山にも生まれたコミュニティレストラン』 など予定

～子どもをとりまく環境を豊かに～

### つながっているとこんなに広がる輪

「地域子育て支援拠点研修(10/30文化会館)」で好評だったアフタフ・バーバン代表北島尚志(たかし)さんの講演会を、保育園の保育士さんらが計画されました。

北島さんとは「子ども忍者のまち探検」での交友もある、かんかこかんメンバーが、ワークショップのスキルや遊びのワークにもっとふれたい、学びたいということで講座を企画、ジョイントが決定。二日間で内容や対象者の異なる四つの催しへと発展しました。

日々のネットワークが、一粒で四度も味わえるおいしい企画となりました。日頃つながりっていると、こんな展開も自然な流れのうちに可能になるものと実感した機会となりました。

#### 【ワークショップ】

##### おとなのためのあそび心講座

##### コミュニケーション力を育む

かんかこスタッフ  
 ・商店街関係者  
 24 日昼 11 人参加  
 かんかこかん

子育て支援者・一般  
 24 日夜 24 人参加  
 かんかこかん

NPO 法人あそび環境 Museum  
 アフタフ・バーバン代表  
 北島尚志さん他スタッフ

#### 【ぐうちよっぱっ劇場】

##### 参加型表現劇

保育園児  
 ・かんかこかんの親子  
 25 日昼 70 人参加  
 総和保育園

#### 【講演会】

##### 遊びの中で育つ

子どもの時間を共に生きる  
 主に保育士  
 25 日夜 100 人参加  
 文化会館



↑ミニシアター、とても楽しかったです。どんどん乗ってくる子どもたちの純粋さ、その声をしっかり受け止めているスタッフの方に感心しました。いやいや、自分の発言が受け入れられるからのってくる・・・(子育ての基本ですね。勉強になりました)。子どもの心をつかむ、さすが、アフタフ・バーバンさん、あっぱれです。総和保育園児はラッキーでした。(S) ◇“子どもの時間”を子どもも大人も体感する、そして響関者として寄り添うことの意味深さに、心打たれました。(N)

**にぎわい** 福の神が舞い降りた  
赤鬼・青鬼・七福神の豆まき巡行に  
節分のまちは大騒ぎ

2月3日は節分の日。飛騨国分寺境内からくり出した25人の一行は、二手にわかれて「鬼は外！福は内！」の声高らかに、お店かまわず豆をまき、鬼を払い福を呼び込み歩きます。化粧の下は商店街の店主やお勤めのみなさん。数年前から商店街の人たちが中心になり復活させた昔ながらの行事です。

国分寺商店街のFさんは、福豆がまかれた店先で「商店街に店を持つ人同士でも互いに面識があるわけではないので、次の機会に話をするきっかけになるのがいい」と話していました。ふだん屋内で仕事をしている若い銀行員さんやお店の旦那さんといった人たちが仮装して、行事の名のもとにまちを巡り商店街を賑やかすことで、カオが見え会話を交わせる関係が生まれるということでしょう。福の神というのは“そこに宿るのだな”と納得しました。



◆ **かんかこキッズも「ギャー—」**

まちのあちらこちらで見られた泣く子と鬼とのツーショット。突然やって来たこわい鬼の胸元に押しやられ、「おかあさん、笑ってないでたすけてえ〜」で大騒動。元気に育て、飛騨の子どもたち!!



**HP** まちづくり通信＝協働のまちづくりの歴史

**バックナンバーがHPからご覧いただけます**

配布用に作成していましたが「まちづくり通信」が、いつでもインターネット上でご覧いただけるようになりました。最新号に加えて、2004年の創刊号から47号までのバックナンバーも準備しました。市民の視点からまちの出来事を追った5年間の記録です。



「かんかこかん」でサイト検索の上、まちづくり通信を選択し、ご覧下さい。

[かんかこかん 検索](#)

**募集** 市営不動橋駐車場の定期利用者募集!!

商店街に近くて便利、ゆったり広々した駐車場をセカンドカーや商用車用にいかがですか。



本町4から北へ約300メートル  
徒歩5分 月6,500円

問合せ:高山市商店街振興組合連合会  
32-2550 (FAX36-0356)

連合橋	不動橋	若宮橋	やよい橋
北←	不動橋 駐車場	七日町	本町4丁目
飛騨信	飛騨総社	●	本町よって館

**まち歩き** 春風に誘われて ひな人形見て歩き

「ひなさまみしてくれ おそでもほ〜めるに♪」  
手筆を下けた子ども達が 菓子求めて歌い出す。  
「ここのあらは いっぱい砂糖がついとった」  
「あそこの家のひな様は かわいい顔しとった」などと  
賑やかに「ひな様」のまちを練り歩く。  
家に帰れば ひなあられにちらし寿司と  
ごっつおが待っているというのに  
この楽しみだけは やめられない。  
春の遅い高山では  
桃の節句にまだ桃の花は開かない。  
「ひな様」を彩るのは浅葱(あさつき)の緑に五色の菱餅。  
娘の成長に目を細めつつ  
父親はホタルイカのヌタをつまみに ほろ酔い加減。(\*)

3月1日(月)～4月3日(土)まで、  
新旧様々な飛騨のひな様たちが市内  
14 観光施設、店舗やホテルなどの  
81ヶ所に展示される「第12回  
飛騨高山雛まつり」。各所に置いてある雛まつりマップを片手に  
まち散歩はいかがですか？観光施設などにあるスタンプを集めると  
ミニプレゼントがもらえるそうです。



問合せ:観光課 35-3145

昭和19年、戦時中のモノがない時代の木目込みの雛さま(身長約4cm)。ふつくら顔のかわいらしい雛さまは65回目の春を迎えます。(マップ17ヤスタベンションの雛さま)

(\*) 出典は「暮らしのかたち～高山の住まいを訪ねて～2000年3月高山市発行、高山市まちづくり・住まづくり研究会「住まいグループ」編、春「ひな様」より

**まちの元気印。インフォメーション**

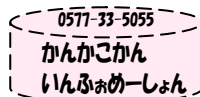
Q.「まちの元気印。応援団」サポーターになると  
どんなメリットがあるの？

A. 「こんな個人的で小さなイベントは新聞にも取り上げられないしPRの術もないし・・・」という方が登録していると、サポーターの皆さんに情報が知らされるとともに、サポーターがお互いにブログなどさまざまな方法でPRしあうことができます(メリット①)。

※現在の登録申込状況は、個人・団体(構成員数)のべ人数で約1,000人となっています。(2月末)。春から本格活動開始!【申込受付中】

問合せ:高山市中心市街地活性化推進室(応援団事務局)  
TEL35-3426(直通)FAX35-3167

[飛騨高山まちの元気印。 検索](#)



こどもひろば・情報ひろば・まちづくりひろば  
まちひとぶら座かんかこかん  
開館時間 10時～5時(年末年始を除き無休)

かんかこかん前は安川通りの歩道融雪工事中です。  
来冬は、歩道も車道も快適に通行できそうです。

★クラフト工房 **祝入園・入学**

レッスンバッグ、靴袋、コップ袋など  
いろいろ。ご要望に応じて承ります。



★フリーマーケットスタート!!

3月18日(木)・25日(木) 10～12時  
参加費 100円

問合せ、申込みは

33-5055 かんかこかん(安川通り商店街)